

春光の眠たき中を巨船ゆく

山田真砂年

(「俳壇」5月号より)

大海原は“春光”でキラキラ、眩しくて目を細めてしまいます。“春光の眠たき中”を進む“巨船”は豪華クルーズ船でしょうか、白い船体を想像し、船旅をしているかのように心地良く、眠ってしまいそうです。

遠い昔、こども達とよく湯船にポンポン船を浮べて遊んだことを思い出しました。この“巨船”も玩具のように“眠たき中を”ゆったりと進んでゆきます。